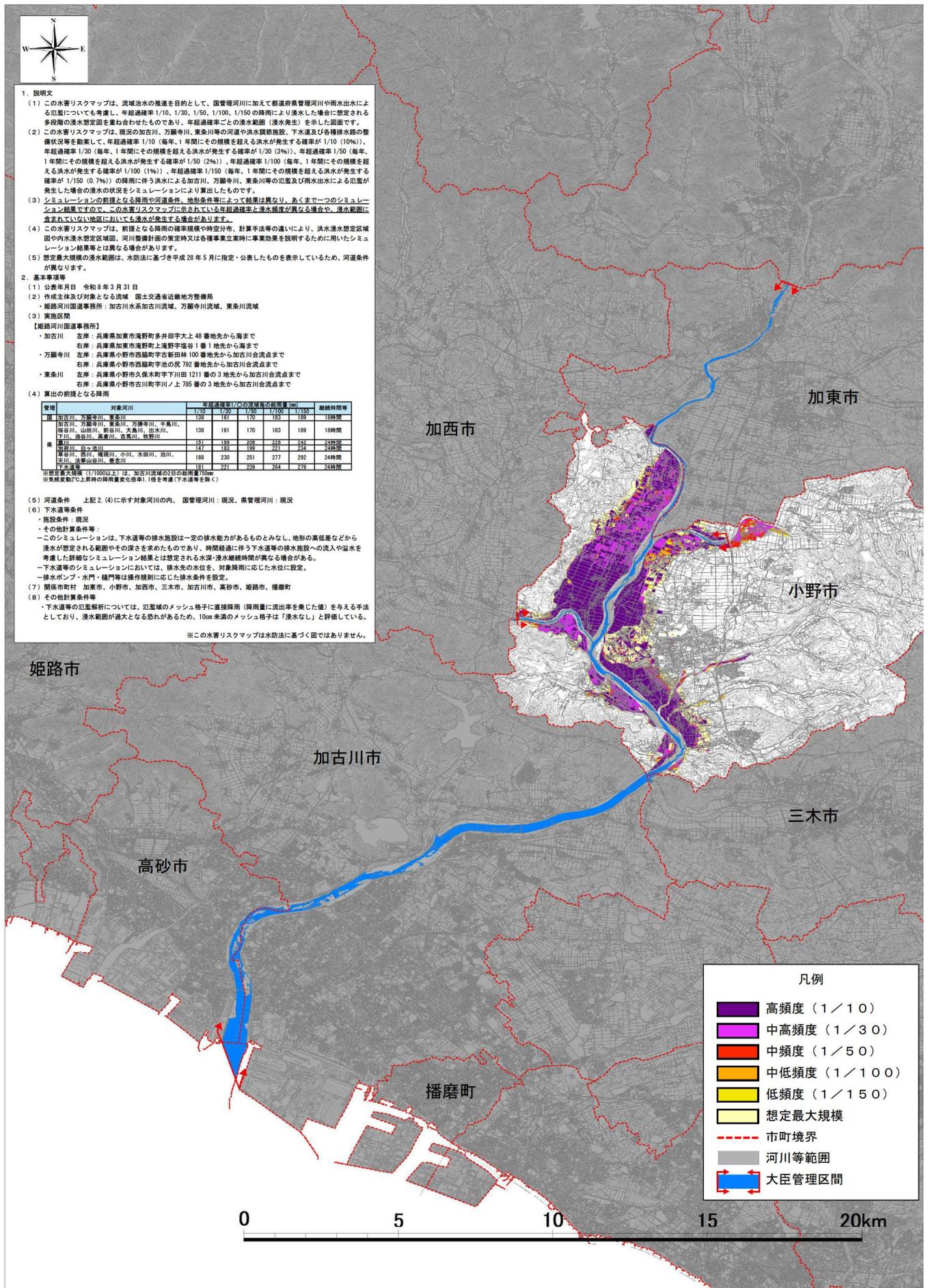


加古川水系 内外水統合の水害リスクマップ【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、国管理河川に加えて都道府県管理河川や雨水出水による氾濫についても考慮し、年超過確率 1/10、1/50、1/100、1/150 の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の加古川、万願寺川、東条川等の河床と洪水調節施設、下水道及び各種排水施設の整備状況等を勘案して、年超過確率 1/10（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/10（10%）、年超過確率 1/30（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30（3%）、年超過確率 1/50（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50（2%）、年超過確率 1/100（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/100（1%）、年超過確率 1/150（毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水による加古川、万願寺川、東条川等の氾濫及び雨水出水による氾濫が発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) シミュレーションの前提となる降雨や河運条件、地形条件等によって結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。

(4) この水害リスクマップは、前提となる降雨の確率規模や時空分布、計算手法等の違いにより、洪水浸水想定区域図や内外水浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果等とは異なる場合があります。

(5) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成 28 年 5 月に指定・公表したものを表示しているため、河運条件が異なります。

2. 基本事項

(1) 公表年月日 令和 8 年 3 月 31 日

(2) 作成主体及び対象となる流域 国土交通省近畿地方整備局
 ・姫路河川国道事務所：加古川水系加古川流域、万願寺川流域、東条川流域

(3) 実施区間
 【姫路河川国道事務所】
 ・加古川 左岸：兵庫県加東市滝野町多井田字上 48 番地先から海まで
 右岸：兵庫県加東市滝野町上滝野字塩谷 1 番 1 地先から海まで
 ・万願寺川 左岸：兵庫県小野市西脇町宇古新田 100 番地先から加古川合流点まで
 右岸：兵庫県小野市西脇町宇古新田 792 番地先から加古川合流点まで
 ・東条川 左岸：兵庫県小野市久保町宇下川田 1211 番の 3 地先から加古川合流点まで
 右岸：兵庫県小野市古川町宇下川田 785 番の 3 地先から加古川合流点まで

(4) 算出の前提となる降雨

管理種別	対象河川	年別降雨量(1/100)の発生(単位:mm)				継続時間等
		1/10	1/30	1/50	1/100	
河川	加古川、万願寺川、東条川、万願寺川、平尾川、榑谷川、山田川、榑谷川、本郷川、出木川、下川、油谷川、高倉川、吉高川、牧野川	138	161	170	183	159
県	加古川	121	132	139	151	244
	榑谷川、西川、榑谷川、小川、水田川、油川、下川、油谷川、高倉川	188	230	251	277	244
下水道等		181	221	239	264	239

※想定最大規模 (1/1000以上) は、加古川流域の目的降雨量 70mm
 ※気候変動が上昇時の降雨量変化倍率(1.1倍)を考慮(下水道等を除く)

(5) 河運条件 上記 2. (4) に示す対象河川の内、国管理河川：現況、県管理河川：現況

(6) 下水道等条件
 ・施設条件：現況
 ・その他計算条件等：
 - このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものであり、時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは想定される水深・浸水継続時間が異なる場合がある。
 - 下水道等のシミュレーションにおいては、排水先の水位を、対象降雨に応じた水位に設定。
 - 排水ポンプ・水門・樋門等は操作規則に応じた排水条件を設定。

(7) 関係市町村 加東市、小野市、加西市、三木市、加古川市、高砂市、姫路市、播磨町

(8) その他計算条件等
 ・下水道等の氾濫解析については、氾濫域のメッシュ格子に直接降雨（降雨量に流出率を乗じた値）を与える手法としており、浸水範囲が過大となる恐れがあるため、100m 未満のメッシュ格子は「浸水なし」と詳細している。

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。